

県南広域振興局長

提出者 トヨタ紡織東北株式会社
 住所 岩手県北上市相去町平林15-13
 氏名 代表取締役社長 坂本 真也

（法人にあつては、その名称及び代表者の氏名）

地球温暖化対策実施状況届出書

県民の健康で快適な生活を確保するための環境の保全に関する条例第83条の規定により、地球温暖化対策の実施状況について、次のとおり届け出ます。

1. 事業者に関する事項

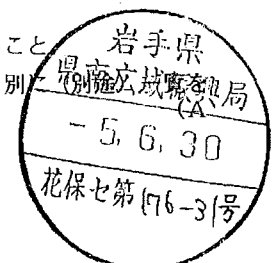
主たる工場又は事業場の名称	トヨタ紡織東北株式会社	* 整理番号	
主たる工場又は事業場の所在地	岩手県北上市相去町平林15-13	* 受理年月日	年 月 日
エネルギー使用量	3,031 kl	* 施設番号	
自動車の使用台数	19 台		
二酸化炭素の排出の状況	別紙のとおり。		
二酸化炭素の排出の抑制のための措置状況			
その他の地球温暖化の対策の実施状況			
変更年月日及び理由	年 月 日		
エネルギーの使用の合理化等に関する法律第19条第1項に定める連鎖化事業者	該当しない		

2. 県内に設置している工場又は事業所並びに店舗の一覧

工場等の名称	工場等の所在地	エネルギーの使用量
北上工場	北上市相去町平林15-13	2,751 kℓ
金ヶ崎工場	胆沢郡金ヶ崎町西根森山サテライトショップ1-1	280 kℓ
		kℓ

備考1 *印の欄には、記載しないこと。

- エネルギー使用量の欄は県民の健康で快適な生活を確保するための環境の保全に関する条例施行規則第39条第1項に規定する工場又は事業場に該当する場合に、自動車の使用台数の欄は同条第2項に該当する場合に記載
 - エネルギー使用量については、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則（昭和54年通商産業省令第74号）第4条の方法により原油の数量へ換算した量を記載すること。
 - 変更計画書の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること
 2. 県内に設置している工場又は事業所並びに店舗の一覧の記載欄が足りない場合には、別
- 作成の上、添付してください。
4)



別紙 その1 (工場又は事業場用)
1 二酸化炭素の排出の状況 全社用

当該年度のエネルギー使用量				二酸化炭素の排出の状況				
	項目	使用量 (A)	原油換算量 (t0)	排出係数(B)	当該年度の排出量 (C=A×B)	前年度の排出量 (D)	対前年度比 (%) (D-C)/D×100)	
					(t-CO ₂)	(t-CO ₂)		
燃料及び熱	原油 (コンデンセートを除く)	k0		2.62 t-CO ₂ /k0				
	原油のうちコンデンセート (NGL)	k0		2.38 t-CO ₂ /k0				
	揮発油	k0		2.32 t-CO ₂ /k0				
	オプサ	k0		2.24 t-CO ₂ /k0				
	灯油	3,699 k0	4	2.49 t-CO ₂ /k0	9.2	12.2	▲ 25	
	軽油	k0		2.58 t-CO ₂ /k0				
	A重油	k0		2.71 t-CO ₂ /k0				
	B・C重油	k0		3.00 t-CO ₂ /k0				
	石油アスファルト	t		3.12 t-CO ₂ /t				
	石油コーガス	t		2.78 t-CO ₂ /t				
	石油ガス	液化石油ガス (LPG)	573.3 t	751	3.00 t-CO ₂ /t	1720.0	1504.9	14
		石油系炭化水素ガス	千m ³		2.34 t-CO ₂ /千m ³			
	可燃性天然ガス	液化天然ガス (LNG)	55,789 t	79	2.70 t-CO ₂ /t	150.5	94.9	59
		その他可燃性天然ガス	千m ³		2.22 t-CO ₂ /千m ³			
	石炭	原料炭	t		2.61 t-CO ₂ /t			
		一般炭	t		2.33 t-CO ₂ /t			
		無煙炭	t		2.52 t-CO ₂ /t			
	石炭コーガス	t		3.17 t-CO ₂ /t				
	コールタール	t		2.86 t-CO ₂ /t				
	コーガス炉ガス	千m ³		0.85 t-CO ₂ /千m ³				
	高炉ガス	千m ³		0.33 t-CO ₂ /千m ³				
	転炉ガス	千m ³		1.18 t-CO ₂ /千m ³				
	その他の燃料	都市ガス	千m ³		2.23 t-CO ₂ /千m ³			
		()	()		t-CO ₂ /()			
		()	()		t-CO ₂ /()			
	産業用蒸気	GJ		0.06 t-CO ₂ /GJ				
	産業用以外の蒸気	GJ		0.06 t-CO ₂ /GJ				
	温水	GJ		0.06 t-CO ₂ /GJ				
冷水	GJ		0.06 t-CO ₂ /GJ					
小計			834		1879.7	1612	17	
電気	電気事業者	昼間買電	5277.49 千kWh	1358	0.522 t-CO ₂ /千kWh	2754.9	2914.8	▲ 5
		夏期・冬期における電気需要平準時間帯	3281.57 千kWh	844				
		夜間買電	3506.21 千kWh	839	0.522 t-CO ₂ /千kWh	1830.2	1486.7	23
	その他	上記以外の買電	千kWh		0.550 t-CO ₂ /千kWh			
		自家発電	千kWh					
小計		8783.71 千kWh	2197		4585.1	4401.5	4	
合計			3031		6464.8	6013.5	8	
※ 燃料を用いて自家発電した電気のうち、他社に販売した量		千kWh		t-CO ₂ /千kWh				
合計								

備考1 原油換算量は、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則(昭和54年通商産業省令第74号)第4条の方法により換算してください。
 2 二酸化炭素排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令(平成11年政令第143号)の第3条の規定により算定してください。
 3 エネルギー使用量の使用量(A)の欄には、県内に設置している工場又は事業所並びに店舗におけるエネルギー使用量の合計を記載してください。
 4 「夏期・冬期における電気需要平準時間帯」については、昼間買電の内数であるため「()」としている。「電気」の「小計」で重複計上しないでください。
 5 「燃料を用いて自家発電した電気」を他者に販売した場合、その量と排出係数を適切な方法で算出し、※の行に正の値で入力してください。

2 地球温暖化対策計画の達成状況

【目標値の達成状況(進捗状況)】

「2025年までに19年度比で25%削減する」を目標に掲げ活動を推進している。

2022年度における目標値(台数増減等加味)に対し、約10%低減を行うことができた。
なお、目標達成までは、約15%削減する必要がある

【具体的な取組状況】

1.電気

省エネ活動において、E-JIT(Energy Just In Time:必要な時に必要なエネルギーだけを使い、必要な製品をつくる)といった考え方にに基づき、活動を推進している。またそれを具体的なアイテムに見える化した「省エネ40アイテム」を使い日常改善を実施している

1)工場部門において(主なもの)

・設備のカレンダータイマー化 ・非稼働時の電源OFF ・フィルター・ストレーナー・蒸気トラップの定期メン

今年度実施アイテム

・真空成型機 エアー電磁弁制御によるエアー供給の最適化(非稼働時OFF)

・クーリングタワー制御調整(60Hz→45Hz)による使用電力の最適化

2)間接部門において(主なもの)

・退席時のPC蓋閉じ、退社時のプラグ外しの徹底 ・空調温度管理 ・昼休憩時間の消灯 ・クールウォームビズの周知

2.LPG

ボイラーにエコマイザーを設置し、熱回収をすることで約2%の低減を行いました。(北上工場)

また、空気比を推奨値における下限値に調整することで燃焼効率をアップさせ、運転の効率化を図った(北上・金ヶ崎工場)

3.灯油

空調機と併用としながら室内温度を20℃になるよう、温度管理を周知・徹底を行った

3 その他の地球温暖化の対策の実施状況

環境保全活動実績

- ・「白山の森」保全活動へ参加
- ・花いっぱい活動へ参加
- ・来客・従業員駐車場におけるアイドリングストップ看板設置(北上工場)

別紙 その1 (工場又は事業場用)
1 二酸化炭素の排出の状況 北上工場用

当該年度のエネルギー使用量				二酸化炭素の排出の状況				
	項目	使用量 (A)	原油換算量 (kℓ)	排出係数(B)	当該年度の排出量 (C=A×B)	前年度の排出量 (D)	対前年度比 (%) (D-C)/D×100)	
					(t-CO ₂)	(t-CO ₂)		
燃料及び熱	原油 (コンデンセートを除く)	kℓ		2.62 t-CO ₂ /kℓ				
	原油のうちコンデンセート (NGL)	kℓ		2.38 t-CO ₂ /kℓ				
	揮発油	kℓ		2.32 t-CO ₂ /kℓ				
	ナフサ	kℓ		2.24 t-CO ₂ /kℓ				
	灯油	3,699 kℓ	4	2.49 t-CO ₂ /kℓ	9.2	12.2	▲ 25	
	軽油	kℓ		2.58 t-CO ₂ /kℓ				
	A重油	kℓ		2.71 t-CO ₂ /kℓ				
	B・C重油	kℓ		3.00 t-CO ₂ /kℓ				
	石油アスファルト	t		3.12 t-CO ₂ /t				
	石油コークス	t		2.78 t-CO ₂ /t				
	石油ガス	液化石油ガス (LPG)	573.3 t	751	3.00 t-CO ₂ /t	1720.0	1504.9	14
		石油系炭化水素ガス	千m ³		2.34 t-CO ₂ /千m ³			
	可燃性天然ガス	液化天然ガス (LNG)	t		2.70 t-CO ₂ /t			
		その他可燃性天然ガス	千m ³		2.22 t-CO ₂ /千m ³			
	石炭	原料炭	t		2.61 t-CO ₂ /t			
		一般炭	t		2.33 t-CO ₂ /t			
		無煙炭	t		2.52 t-CO ₂ /t			
	石炭コークス	t		3.17 t-CO ₂ /t				
	コールタール	t		2.86 t-CO ₂ /t				
	コークス炉ガス	千m ³		0.85 t-CO ₂ /千m ³				
	高炉ガス	千m ³		0.33 t-CO ₂ /千m ³				
	転炉ガス	千m ³		1.18 t-CO ₂ /千m ³				
	その他の燃料	都市ガス	千m ³		2.23 t-CO ₂ /千m ³			
		()	()		t-CO ₂ /()			
		()	()		t-CO ₂ /()			
	産業用蒸気	GJ		0.06 t-CO ₂ /GJ				
	産業用以外の蒸気	GJ		0.06 t-CO ₂ /GJ				
	温水	GJ		0.06 t-CO ₂ /GJ				
	冷水	GJ		0.06 t-CO ₂ /GJ				
	小計			755		1729.2	1517.1	14
電気	電気事業者	昼間買電	4497.57 千kWh	1157	0.522 t-CO ₂ /千kWh	2347.7	2565.6	▲ 8
		夏期・冬期における電気需要平準時間帯	2739.99 千kWh	705				
		夜間買電	3506.21 千kWh	839	0.522 t-CO ₂ /千kWh	1830.2	1486.7	23
	その他	上記以外の買電	千kWh		0.650 t-CO ₂ /千kWh			
		自家発電	千kWh					
小計		8003.79 千kWh	1996		4177.9	4052.3	3	
合計			2751		5907.1	5569.4	6	
※ 燃料を用いて自家発電した電気のうち、他社に販売した量		千kWh		t-CO ₂ /千kWh				
合計								

- 備考1 原油換算量は、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則(昭和54年通商産業省令第74号)第4条の方法により換算してください。
 2 二酸化炭素排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令(平成11年政令第143号)の第3条の規定により算定してください。
 3 エネルギー使用量の使用量(A)の欄には、県内に設置している工場又は事業所並びに店舗におけるエネルギー使用量の合計を記載してください。
 4 「夏期・冬期における電気需要平準時間帯」については、昼間買電の内数であるため「()」としている。「電気」の「小計」で重複計上しないでください。
 5 「燃料を用いて自家発電した電気」を他者に販売した場合、その量と排出係数を適切な方法で算出し、※の行に正の値で入力してください。

別紙 その1 (工場又は事業場用)

1 二酸化炭素の排出の状況 金ヶ崎工場用

当該年度のエネルギー使用量				二酸化炭素の排出の状況				
	項目	使用量 (A)	原油換算量 (k0)	排出係数(B)	当該年度の排出量 (C=A×B)	前年度の排出量 (D)	対前年度比 (%) (D-C)/D×100)	
					(t-CO ₂)	(t-CO ₂)		
燃料及び熱	原油 (コンデンセートを除く)	k0		2.62 t-CO ₂ /k0				
	原油のうちコンデンセート (NGL)	k0		2.38 t-CO ₂ /k0				
	揮発油	k0		2.32 t-CO ₂ /k0				
	ナフサ	k0		2.24 t-CO ₂ /k0				
	灯油	k0		2.49 t-CO ₂ /k0				
	軽油	k0		2.58 t-CO ₂ /k0				
	A重油	k0		2.71 t-CO ₂ /k0				
	B・C重油	k0		3.00 t-CO ₂ /k0				
	石油アスファルト	t		3.12 t-CO ₂ /t				
	石油コークス	t		2.78 t-CO ₂ /t				
	石油ガス	液化石油ガス (LPG)	t		3.00 t-CO ₂ /t			
		石油系炭化水素ガス	千m ³		2.34 t-CO ₂ /千m ³			
	可燃性天然ガス	液化天然ガス (LNG)	55,789 t	79	2.70 t-CO ₂ /t	150.5	94.9	59
		その他可燃性天然ガス	千m ³		2.22 t-CO ₂ /千m ³			
	石炭	原料炭	t		2.61 t-CO ₂ /t			
		一般炭	t		2.33 t-CO ₂ /t			
		無煙炭	t		2.52 t-CO ₂ /t			
	石炭コークス	t		3.17 t-CO ₂ /t				
	コールタール	t		2.86 t-CO ₂ /t				
	コークス炉ガス	千m ³		0.85 t-CO ₂ /千m ³				
	高炉ガス	千m ³		0.33 t-CO ₂ /千m ³				
	転炉ガス	千m ³		1.18 t-CO ₂ /千m ³				
	その他の燃料	都市ガス	千m ³		2.23 t-CO ₂ /千m ³			
		()	()		t-CO ₂ /()			
		()	()		t-CO ₂ /()			
	産業用蒸気	GJ		0.06 t-CO ₂ /GJ				
産業用以外の蒸気	GJ		0.06 t-CO ₂ /GJ					
温水	GJ		0.06 t-CO ₂ /GJ					
冷水	GJ		0.06 t-CO ₂ /GJ					
小計			79		150.5	94.9	59	
電気	電気事業者	昼間買電	779.92 千kWh	201	0.522 t-CO ₂ /千kWh	407.1	349.2	17
		夏期・冬期における電気需要平準時間帯	541.58 千kWh	139				
		夜間買電	千kWh		0.522 t-CO ₂ /千kWh			
	その他	上記以外の買電	千kWh		0.550 t-CO ₂ /千kWh			
		自家発電	千kWh					
小計		779.92 千kWh	201		407.1	349.2	17	
合計			280		557.6	444.1	26	
※ 燃料を用いて自家発電した電気のうち、他社に販売した量		千kWh		t-CO ₂ /千kWh				
合計								

備考1 原油換算量は、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則(昭和54年通商産業省令第74号)

第4条の方法により換算してください。

2 二酸化炭素排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令(平成11年政令第143号)の第3条の規定により算定してください。

3 エネルギー使用量の使用量(A)の欄には、県内に設置している工場又は事業所並びに店舗におけるエネルギー使用量の合計を記載してください。

4 「夏期・冬期における電気需要平準時間帯」については、昼間買電の内数であるため「()」としている。「電気」の「小計」で重複計上しないでください。

5 「燃料を用いて自家発電した電気」を他者に販売した場合、その量と排出係数を適切な方法で算出し、※の行に正の値で入力してください。